

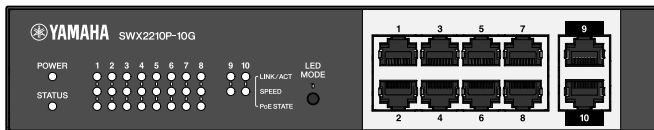
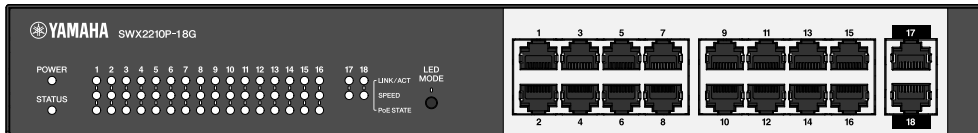
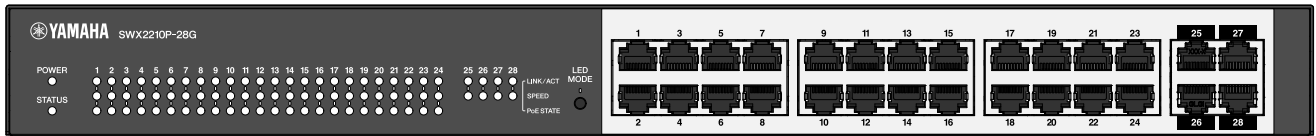
L2スイッチ

SWX2210P-28G

SWX2210P-18G

SWX2210P-10G

スタートアップガイド



目次

1. はじめに	1
1.1. 本製品の特長	1
1.2. 付属品	1
1.3. 別売品	2
1.4. マニュアルのご案内	2
1.5. 本ガイドの表記について	2
2. 各部の名称と機能	4
2.1. 前面	4
2.2. 底面	7
2.3. 背面	8
2.4. 上面	9
2.5. 側面	10
3. 設置	11
3.1. 水平置きで設置する	11
3.2. 19インチラックに設置する【SWX2210P-10G】	11
3.3. 19インチラックに設置する【SWX2210P-28G】【SWX2210P-18G】	13
3.4. スチール製壁面に設置する【SWX2210P-10G】	14
3.5. スチール製壁面から取り外す【SWX2210P-10G】	16
3.6. 壁面に設置する【SWX2210P-10G】	16
4. 接続	20
4.1. 電源コードを接続する	20
4.2. ネットワーク機器やパソコンを接続する	21
4.3. PoE受電機器を接続する	21
5. 設定	22
5.1. Web GUIを使用して設定する	22
5.2. Telnetを使用してコマンドラインで設定する	22
5.3. 本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す	24

1. はじめに

1.1. 本製品の特長

- ・ 中小規模ネットワークで最適なL2スイッチ
 - VLAN機能は、ポートベース VLAN、タグVLAN、マルチプルVLANに対応し、柔軟に複数のネットワークを構築できます。
 - リンクアグリゲーションに対応し、論理的に帯域幅を拡大するとともに経路の冗長化を実現できます。
 - QoS (Quality of Service) に対応し、音声や映像などのデータを優先的に制御できます。
 - 小規模オフィスのフロアスイッチとして、また、インターネットマンションのネットワーク構築などに最適なL2スイッチです。
 - 動作環境温度は周囲温度50℃までに対応し、設置場所の制約も解消されます。
- ・ スイッチ機能を簡単に設定
 - 本製品で提供する VLAN、QoS、リンクアグリゲーションなどの機能は、従来のコマンド設定に加え、すべてWeb GUIから設定できます。
 - 初めての方でも本製品を手軽に設定できます。
- ・ 日ごろのネットワーク保守・運用業務を軽減
 - 本製品とL2MSマスターとなるヤマハ製ルーターまたはスイッチを組み合わせることで、L2MSスレーブとしてLANマップ、LANマップLightを使用することができます。
 - ネットワーク構成の把握と機器の監視、障害時の通知や情報収集、設定情報のメンテナンスをL2MSマスターのWeb GUIで行うことができ、日ごろのネットワーク保守・運用業務を軽減できます。
- ・ PoE受電機器を多台数接続・管理
 - 大容量のPoE給電能力により、無線LANアクセスポイントやIPカメラを多台数接続できます。
 - IEEE802.3atに対応し、消費電力の多いPoE受電機器を使用できます。
 - 接続ポート毎にPoE給電の状態確認や制御が可能です。また、LANマップやLANマップLightと組み合わせることで遠隔でもPoE受電機器の保守管理ができます。

1.2. 付属品

以下の付属品が同梱されているか、ご確認ください。

- ・ はじめにお読みください（保証書付）
- ・ AC100V用電源コード（1本）
- ・ 電源コード抜け防止金具（1個、付属AC100V用電源コード専用）
電源コードを取り付ける際に使用します。取り付け方は「接続」の「[電源コードを接続する](#)」をご覧ください。
- ・ レッグ（4個）
水平置きで設置する場合に必要です。取り付け方は「設置」の「[水平置きで設置する](#)」をご覧ください。
- ・ 19インチラックマウント用金具&ネジ（金具：2個、ネジ：8本）【SWX2210P-28G】 【SWX2210P-18G】
19インチラック（1Uサイズ）に取り付ける場合に必要です。取り付け方は「設置」の「[19インチラックに設置する【SWX2210P-28G】 【SWX2210P-18G】](#)」をご覧ください。

- ・ マグネットシート MGS-2020 (1枚) 【SWX2210P-10G】
スチール製壁面に取り付ける場合に必要です。取り付け方は「設置」の「[スチール製壁面に設置する【SWX2210P-10G】](#)」をご覧ください。

1.3. 別売品

- ・ ラックマウントキット YMO-RACK1U 【SWX2210P-10G】
19インチラック (1Uサイズ) に取り付ける場合に必要です。取り付け方は「設置」の「[19インチラックに設置する【SWX2210P-10G】](#)」をご覧ください。
- ・ ウォールマウントキット YWK-1200D 【SWX2210P-10G】
壁面に設置する場合に必要です。取り付け方は「設置」の「[壁面に設置する【SWX2210P-10G】](#)」をご覧ください。

別売品の詳細については、以下のWebサイトをご覧ください。

ヤマハネットワーク製品オプション：<https://network.yamaha.com/products/options/>

1.4. マニュアルのご案内

本製品の利用シーンに合わせた下記のマニュアルを用意しています。目的に合わせて適切なマニュアルをお読みください。

- ・ はじめにお読みください (紙)
本製品をお使いになるうえでの注意事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。
- ・ スタートアップガイド (本ガイド)
本製品の設置方法、接続方法、設定方法が記載されています。
- ・ コマンドリファレンス (Webサイト)
本製品を設定するためのコマンドの形式と、使用例が記載されています。下記のWeb サイトで公開されています。
ヤマハネットワーク機器マニュアル：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/manual.html>
- ・ 技術資料 (Webサイト)
本製品の機能についての詳しい情報が記載されています。下記のWeb サイトで公開されています。
ヤマハネットワーク機器の技術資料：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/>
- ・ 「Web設定画面」のヘルプ
各設定項目についての詳しい説明が記載されています。

1.5. 本ガイドの表記について

- ・ 本ガイドの記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- ・ 本ガイドは、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハWebサイトからダウンロードできます。
ヤマハネットワーク機器マニュアル：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/manual.html>
- ・ 本ガイドに記載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ・ 本ガイドではそれぞれの社名・製品について、以下のように略称で記載しています。
 - ヤマハL2スイッチ SWX2210P-28G、SWX2210P-18G、SWX2210P-10G：本製品
 - 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tケーブル：LANケーブル
- ・ 本ガイドに記載されている会社名、製品名は各社の登録商標あるいは商標です。
 - Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

- 本ガイドに記載されている記号とその内容は以下のとおりです。



警告：「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意：「傷害を負う可能性が想定される」内容です。



注意：製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。



重要：製品を正しく操作、運用するために、必ず知っておいていただきたい内容です。



メモ：操作や運用に関連した情報です。参考にお読みください。

- 本ガイドは、一部のモデルに関する記載を以下のように表します。

表記	内容
【SWX2210P-28G】	SWX2210P-28Gに関する記載を表します。
【SWX2210P-18G】	SWX2210P-18Gに関する記載を表します。
【SWX2210P-10G】	SWX2210P-10Gに関する記載を表します。

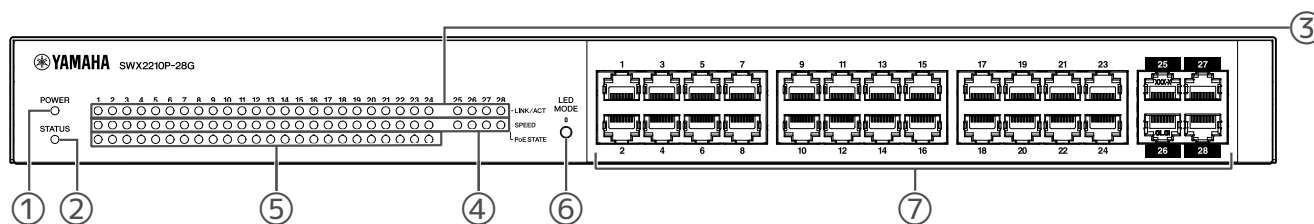


メモ：全モデルに共通する記載には、モデル名は付いていません。

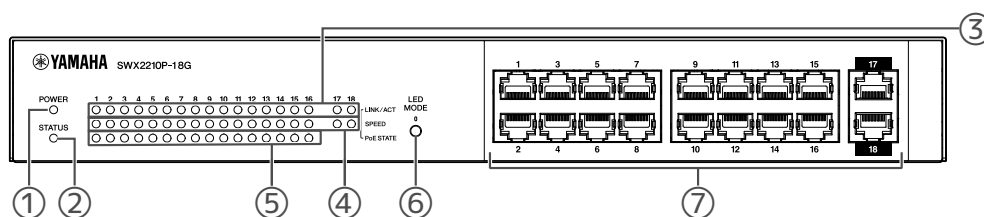
2. 各部の名称と機能

2.1. 前面

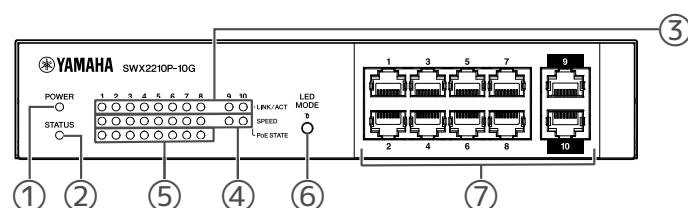
【SWX2210P-28G】



【SWX2210P-18G】



【SWX2210P-10G】



① POWERランプ

通電時に点灯します。

POWERランプ	状態
消灯	電源OFF
点灯（緑色）	電源ON

② STATUSランプ

本製品の状態を表示します。

STATUSランプ	本製品の状態
消灯	通常です。
点灯（橙色）	以下のいずれかの状態です。 <ul style="list-style-type: none"> • PoEの総給電電力が、本製品の最大給電電力を超過しています。 • PoEのガードバンド機能により、給電が抑制されています。 • PoEポートで過電流が検出されています。 • ループが検出され、ポートがブロッキング状態になっています。
点滅（橙色）	ファン、内部温度、PoE用電源の異常が検知されています。

注意：STATUSランプが橙色で点滅している場合は、異常の状態を確認して、適切に対応してください。



- ファンの停止
すぐに使用を中止し、必ずご購入の販売店に修理や点検をご依頼ください。
- PoE用電源の故障
すぐに使用を中止し、必ずご購入の販売店に修理や点検をご依頼ください。
- 本製品内部温度の異常
本製品内部の温度が適正になるように、設置環境を見直して本製品を正しく設置してください。

show environment コマンドで、温度異常とファン異常を確認できます。

コマンドに関する詳細は、コマンドリファレンスをご覧ください。

コマンドリファレンスは、以下のWebサイトで公開されています。

ヤマハネットワーク機器マニュアル：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/manual.html>

③ LINK/ACTランプ

LANポートの状態を表示します。

LINK/ACTランプ	LANポートの状態
消灯	リンクを喪失しています。（使用不可） または、LED MODEボタンで消灯を選択しています。
点灯（緑色）	リンクを確立しています。（使用可能）
点滅（緑色）	データが流れています。
点滅（橙色）	ループが検出されています。

④ SPEEDランプ

LANポートの接続速度を表示します。

SPEEDランプ	接続状態
消灯	以下のいずれかの状態です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 接続していません。 ・ 10BASE-Tで接続しています。 ・ LED MODEボタンで消灯を選択しています。
点灯（橙色）	100BASE-TXで接続しています。
点灯（緑色）	1000BASE-Tで接続しています。

⑤ PoE STATEランプ

給電状態を表示します。

PoE STATEランプ	給電状態
消灯	給電していません。 または、LED MODEボタンで消灯を選択しています。
点灯（橙色）	総給電電力の制限により給電を停止しています。 または、総給電電力がガードバンド範囲に入り給電を抑制しています。
点滅（橙色）	過電流の検出により給電を停止しています。
点灯（緑色）	給電しています。

⑥ LED MODEボタン

LINK/ACT、SPEED、PoE STATEランプの点灯と消灯を切り替えます。

ランプが点灯している場合にLED MODEボタンを長押し（1秒以上）すると、ランプが消灯します。

ランプが消灯している場合にLED MODEボタンを長押しすると、ランプが点灯します。

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す場合にも使用します。詳細は「設定」の「[LED MODEボタンで工場出荷時の状態に戻す](#)」をご覧ください。

⑦ LANポート

10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tのポートです。

PoE給電はIEEE 802.3at対応です。

以下のポートはアップリンクポートのため、給電機能がありません。

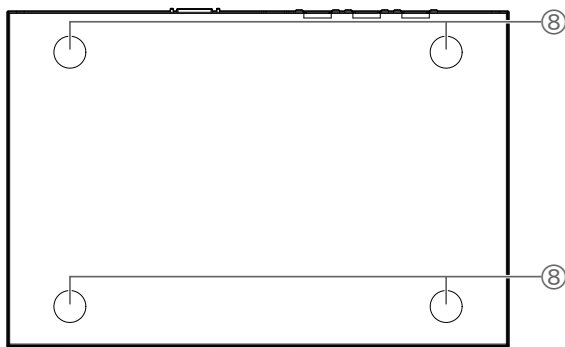
【SWX2210P-10G】 9番、10番ポート

【SWX2210P-18G】 17番、18番ポート

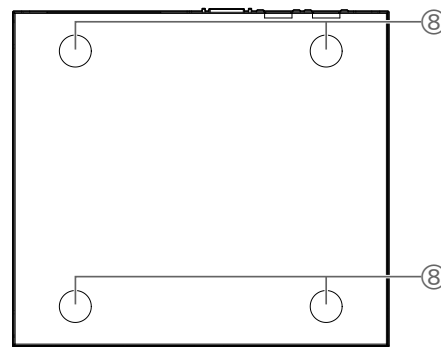
【SWX2210P-28G】 25番、26番、27番、28番ポート

2.2. 底面

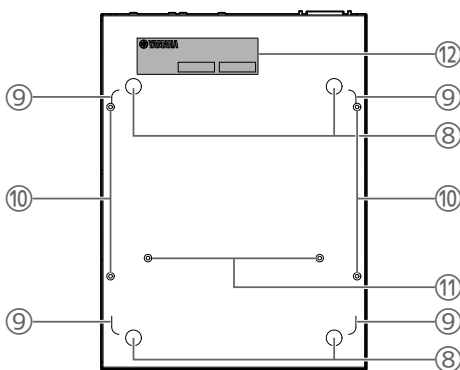
【SWX2210P-28G】



【SWX2210P-18G】



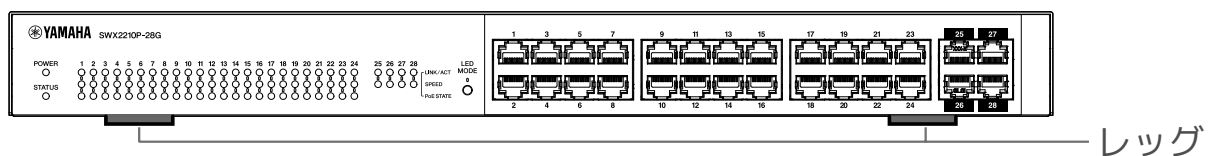
【SWX2210P-10G】



⑧ レッグ取り付けガイド

水平置きに設置する場合に、付属のレッグを取り付ける位置を示しています。取り付け方は「設置」の「[水平置きで設置する](#)」をご覧ください。

水平置きで設置する場合は、付属のレッグを図のように取り付けてください。



⑨ マグネットシート取り付けガイド 【SWX2210P-10G】

スチール製壁面に設置する場合に、付属のマグネットシートを取り付ける位置を示しています。取り付け方は「設置」の「[スチール製壁面に設置する【SWX2210P-10G】](#)」をご覧ください。

⑩ ウォールマウントキット取り付け穴 【SWX2210P-10G】

ウォールマウントキットYWK-1200Dを取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「[壁面に設置する【SWX2210P-10G】](#)」をご覧ください。

⑪ ラックマウントキット取り付け穴 【SWX2210P-10G】

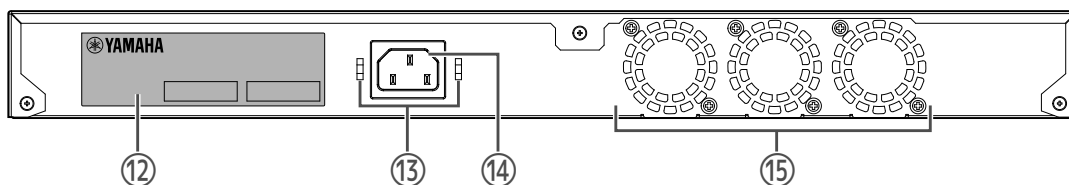
ラックマウントキットYMO-RACK1Uを取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「[19インチラックに設置する【SWX2210P-10G】](#)」をご覧ください。

⑫ 製品ラベル

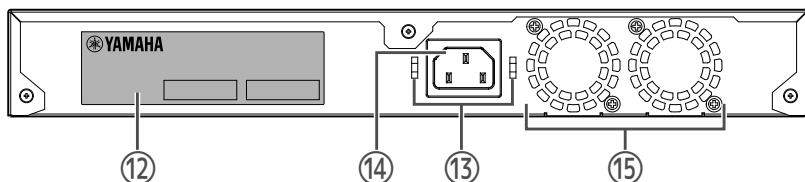
本製品の機器名、製造番号、MACアドレスなどを記載しています。

2.3. 背面

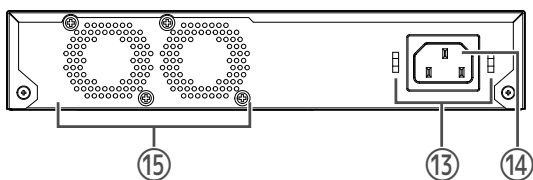
【SWX2210P-28G】



【SWX2210P-18G】



【SWX2210P-10G】



⑫ 製品ラベル

本製品の機器名、製造番号、MACアドレスなどを記載しています。

⑬ 電源コード抜け防止金具取り付け穴

付属の電源コード抜け防止金具（コの字型）を取り付けます。取り付け方は「接続」の「[電源コードを接続する](#)」をご覧ください。

⑭ 電源インレット（3極コネクター、C14タイプ）

付属の電源コードを差し込みます。AC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続します。

⑮ ファン

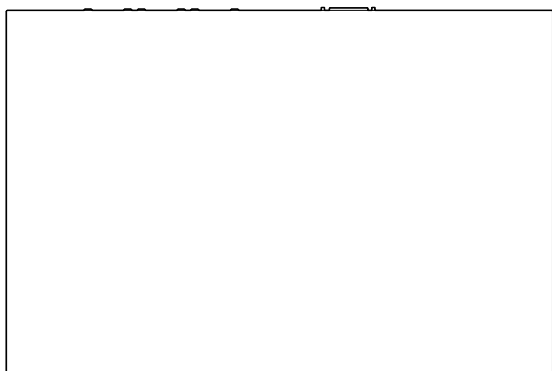
内部で発生する熱を強制的に排出します。異常を検知するとSTATUSランプが橙色で点滅します。



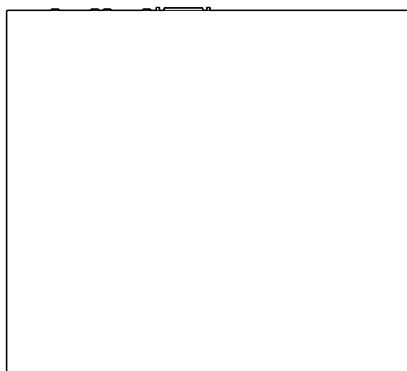
警告：ファンの排出口をふさいだり、周囲に物を置いたりしない。
火災や故障の原因になります。

2.4. 上面

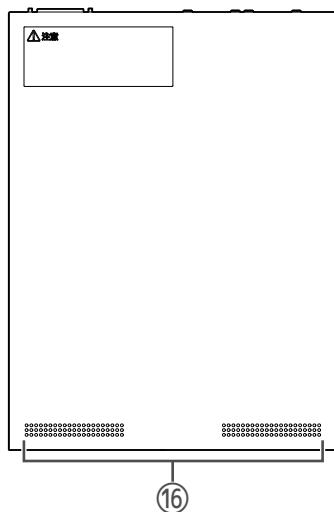
【SWX2210P-28G】



【SWX2210P-18G】



【SWX2210P-10G】

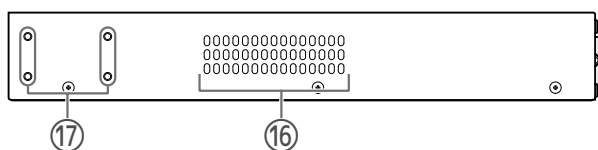


⑩ 通風口

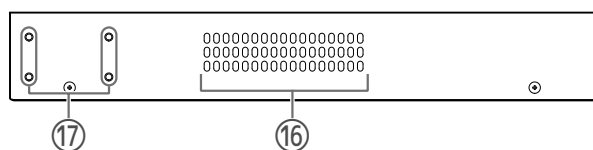
本製品に開けられた穴は、外気を取り込むための通風口です。

2.5. 側面

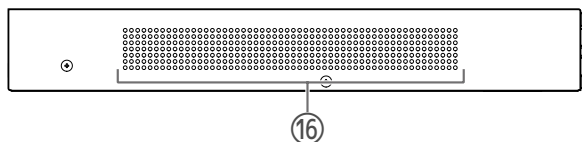
【SWX2210P-28G】



【SWX2210P-18G】



【SWX2210P-10G】



⑩ 通風口

本製品に開けられた穴は、外気を取り込むための通風口です。



警告：通風口をふさいだり、周囲に物を置いたりしない。
火災や故障の原因になります。

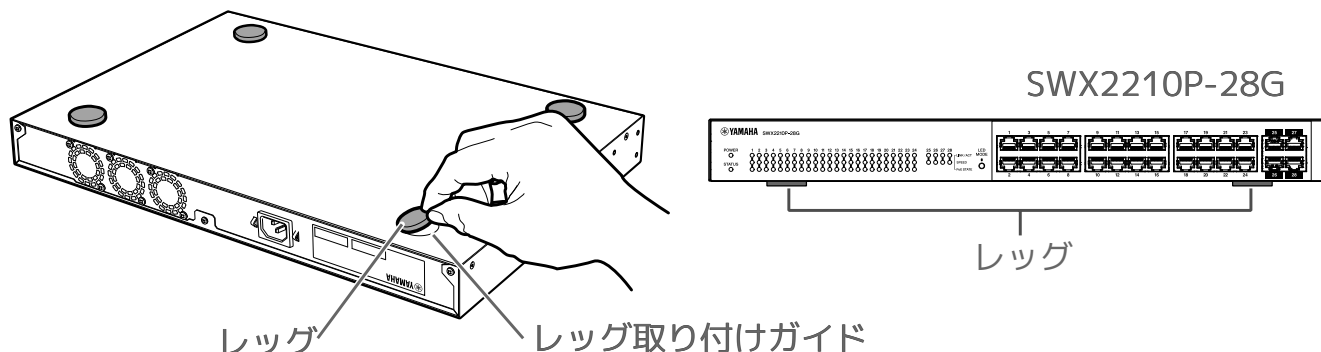
⑪ ラックマウント用金具取り付け穴 【SWX2210P-28G】 【SWX2210P-18G】

19インチラック（1U）に取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「[19インチラックに設置する【SWX2210P-28G】【SWX2210P-18G】](#)」をご覧ください。

3. 設置

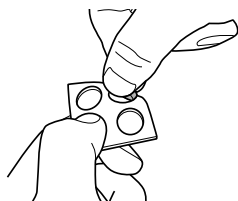
3.1. 水平置きで設置する

付属のレッグをレッグ取り付けガイドの位置に図のように取り付け、デスクの上などの水平な場所に設置します。



メモ

- SWX2210P-28GとSWX2210P-18Gには、4個のレッグが同梱されています。
- SWX2210P-10Gには、4個のレッグが1つのシートに貼られて同梱されています（下図）。



3.2. 19インチラックに設置する【SWX2210P-10G】

SWX2210P-10Gは、別売のラックマウントキットYMO-RACK1Uを使用して取り付けます。取り付け方や注意事項など、詳細についてはラックマウントキット付属の「YMO-RACK1U取扱説明書」をご覧ください。

【取り付け方法】

中央ブロックに取り付ける場合を例に説明します。左右ブロックに取り付ける場合も、以下の手順に従ってください。

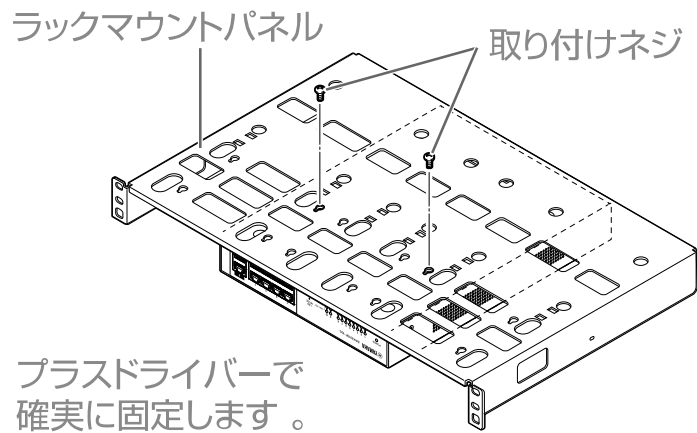


警告：取り付け、取り外しのときは、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。



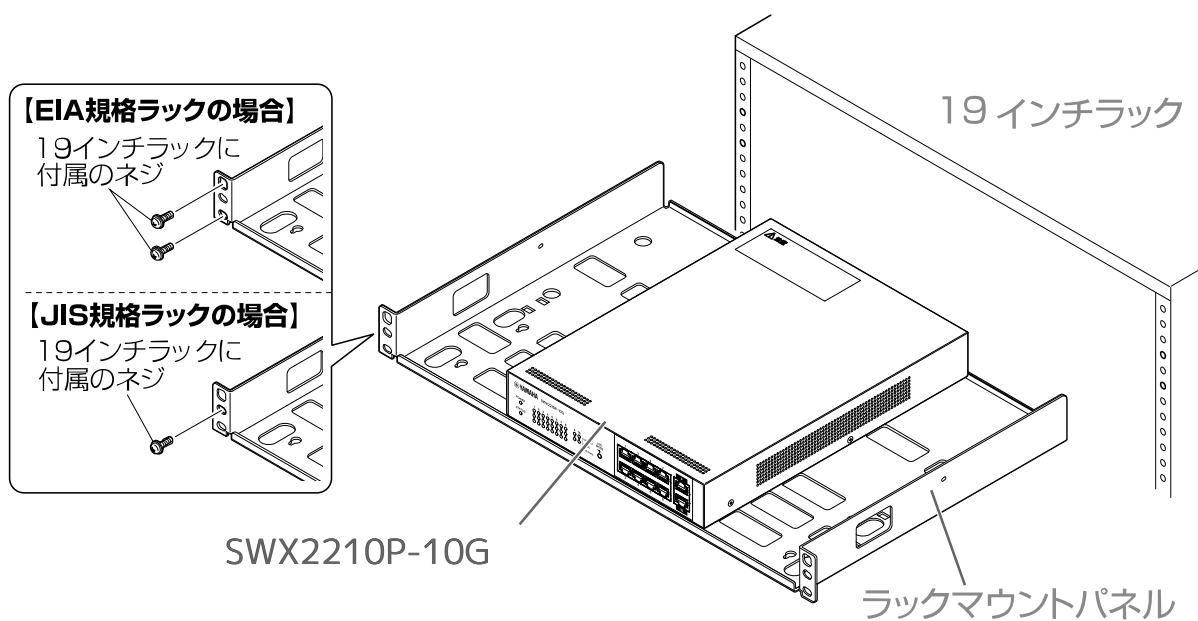
重要：本製品の底面にレッグを取り付けている場合は、取り外してからマウントパネルを取り付けてください。

1. ラックマウントパネルに本製品を取り付けます。
ラックマウントパネルに付属の取り付けネジ（2本）を使用し、本製品の底面にラックマウントパネルを固定します。

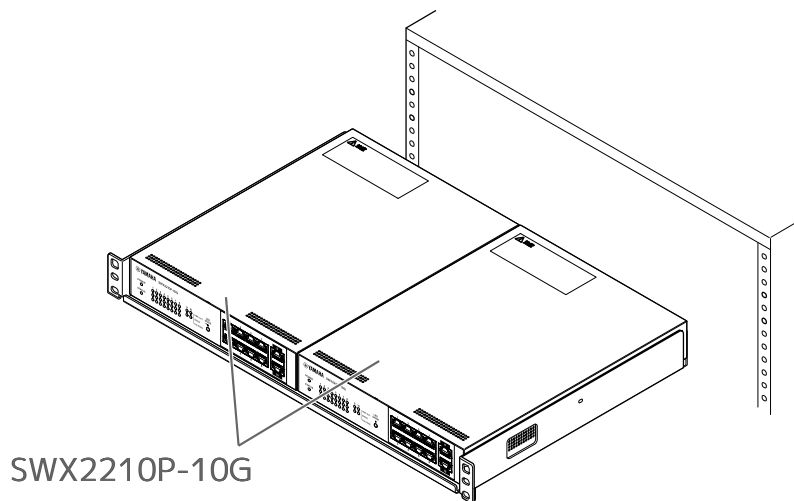


警告：本製品を別売ラックマウントキットYMO-RACK1Uに取り付けるときは、必ずマウントキット付属の指定されたネジを使用する。落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。

- ラックマウントパネルを19インチラックに取り付けます。19インチラックに付属の取り付けネジ（EIA規格4本、JIS規格2本）を使用し、19インチラックに本製品を取り付けます。取り付けネジがゆるまないように、十分に締め付けてください。



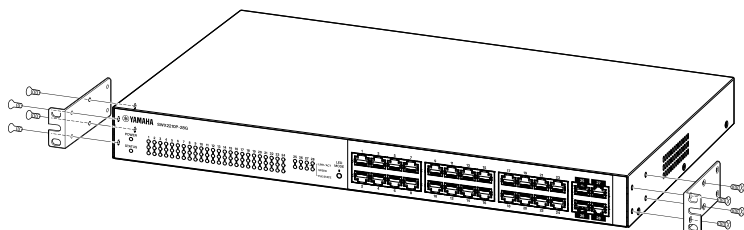
下図のようにSWX2210P-10Gを2台取り付けることもできます。



警告：本製品の上面と側面にある通風口、および背面にあるファンの排出口をふさがない。
火災や故障の原因になります。

3.3. 19インチラックに設置する【SWX2210P-28G】 【SWX2210P-18G】

SWX2210P-28GとSWX2210P-18Gは、19インチラックマウント1Uサイズに適合します。19インチラックに組み込む場合は、付属のラックマウント用金具（2個）を付属のネジ（8本）を使用して固定します。



プラスドライバーで確実に固定します。

警告



- 取り付け、取り外しの際は、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜く。
感電や故障の原因になります。
- 必ず付属の19インチラックマウント用金具とネジを使用する。
落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。
- 本製品の側面にある通風口、および背面にあるファンの排出口をふさがない。
火災や故障の原因になります。



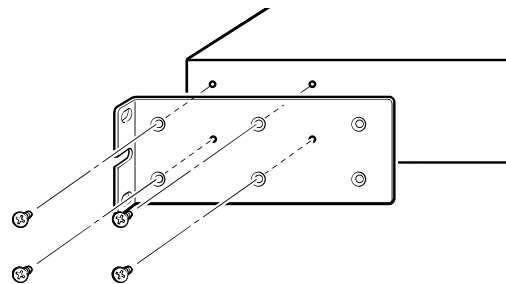
注意：19インチラックに扉がある場合には、本体を組み込んで通信ケーブルや電源コードを配線した後に、ぶつかることがないように十分注意してください。



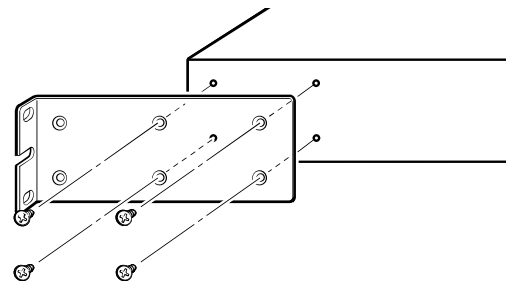
メモ：19インチラックへの取り付けネジは付属していません。

本製品に19インチラックマウント用金具を取り付けるには、以下の2つの方法があります。

方法A：19インチラックマウント用金具のラックネジ面と本製品の前面を、同一面にして取り付ける
通常はこちらの方法で取り付けます。



方法B：方法Aよりも、本製品を4cm奥に取り付ける
19インチラックに扉がついている場合は、こちらの方法で取り付けます。本製品の前面に挿入したLANケーブルがラックの扉に接触しないよう、本製品を奥に取り付けます。



メモ



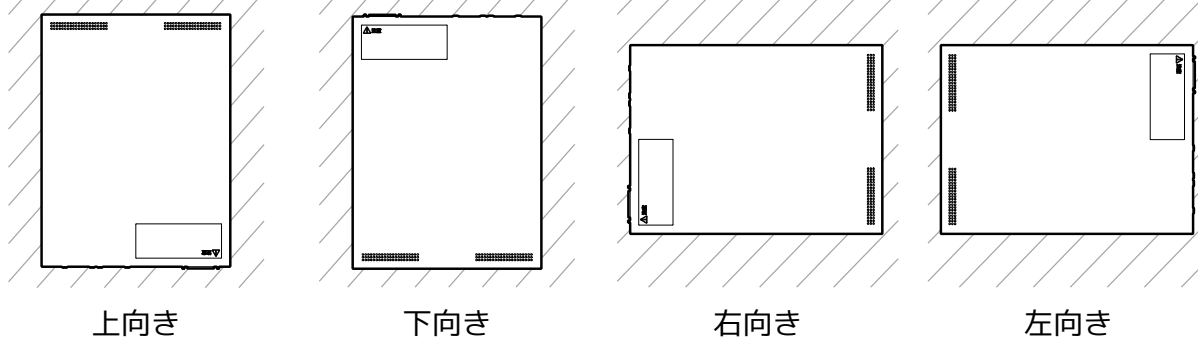
- ・イラストのラックマウント用金具は、SWX2210P-28G用です。
- ・SWX2210P-18G用は、19インチラックへの取り付け部が長くなっています。

3.4. スチール製壁面に設置する 【SWX2210P-10G】

付属のマグネットシートを使用して設置します。

【取り付けパターン】

前面、背面、側面のどの面を上にしても設置できますが、斜めには設置しないでください（下図参照）。



警告：取り付け、取り外しのときは、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。



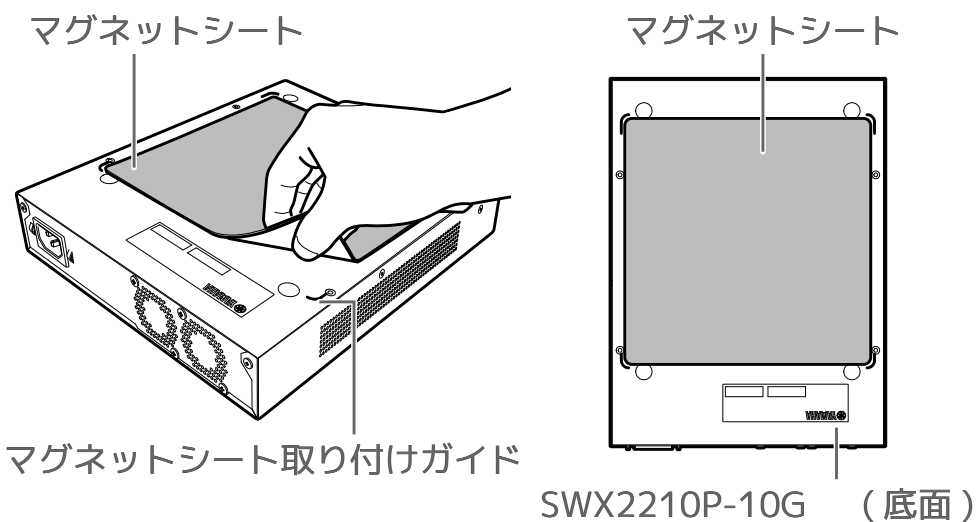
注意：本製品を、高所または天井に取り付けない。設置する場合は、高さ200cm以内に設置してください。落下によるけがや機器破損の原因になります。



重要：本製品の底面にレッグを取り付けている場合は、取り外してからマグネットシートを取り付けてください。

1. 本製品にマグネットシート MGS-2020 を取り付けます。
付属のマグネットシートを、本製品底面のマグネットシート取り付けガイドに沿って貼ります。マグネ

ットシートは、どちらの面も磁力の強さは同じです。



注意：付属品以外のマグネットシートを使用しない。また、付属品のマグネットシートを他の機器を取り付けるために使用しない。本製品や他の機器が落下して、けがの原因になります。

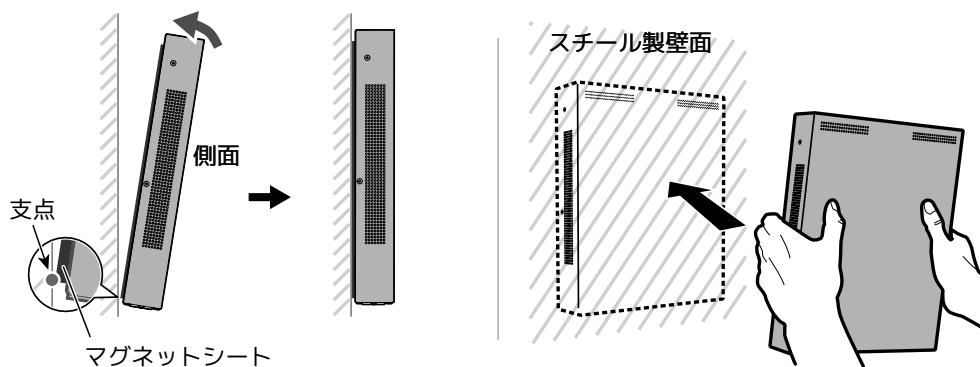
注意



- ・マグネットシートを切って使用しないでください。小さく切り分けて使用した場合、本製品が落下するおそれがあります。
- ・マグネットシートを取り付けた本製品を、スイッチなどのネットワーク機器に重ねて設置しないでください。機器の転倒や誤動作の原因となるおそれがあります。

2. 本製品を壁面に取り付けます。

取り付けを容易にするために、本製品の下部を支点にすることをおすすめします。



注意

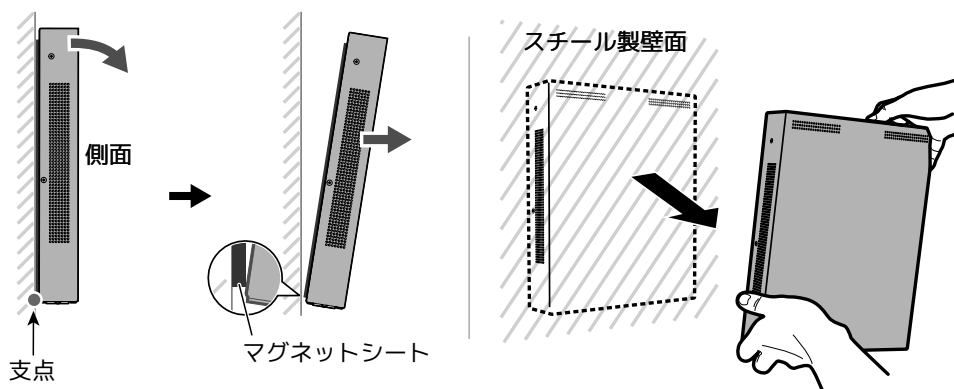
- 本製品を壁面に設置するときは、本製品と壁面の間に指を入れない。マグネットシートの磁力は強力です。指がはさまり、けがの原因になります。
- 本製品をマグネットシートで壁面に設置したあと、機器をずらさない。接着面が小さくなるため、本製品が落下し、けがや機器破損の原因になったり、被着面の塗装などに傷がついたりするおそれがあります。
- ケーブルは必ず壁面などに固定する。ケーブルに手や足が引っかかると本製品が落下し、けがや機器破損の原因になります。

注意

- 設置面の状態によっては十分な設置強度を得られない場合があります。取り付けの際、問題がないか確認してください。
- マグネットシート全体が壁面に密着するように取り付けてください。
- 壁面に取り付けの際、マグネットシートと壁の間にケーブルなどが挟まっていないことを確認してください。

3.5. スチール製壁面から取り外す【SWX2210P-10G】

取り外しを容易にするために、本製品の下部を支点にすることをおすすめします。また、端子に触れないよう、図のように持つことをおすすめします。



注意：本製品を壁面から取り外すときは、本製品をしっかり持つ。マグネットシートの磁力は強力です。本製品が落下して、けがの原因になります。

3.6. 壁面に設置する【SWX2210P-10G】

別売のウォールマウントキットYWK-1200Dを使用して設置します。取り付け方法や注意事項など、詳細についてはウォールマウントキット付属の「YWK-1200D 取扱説明書」をご覧ください。

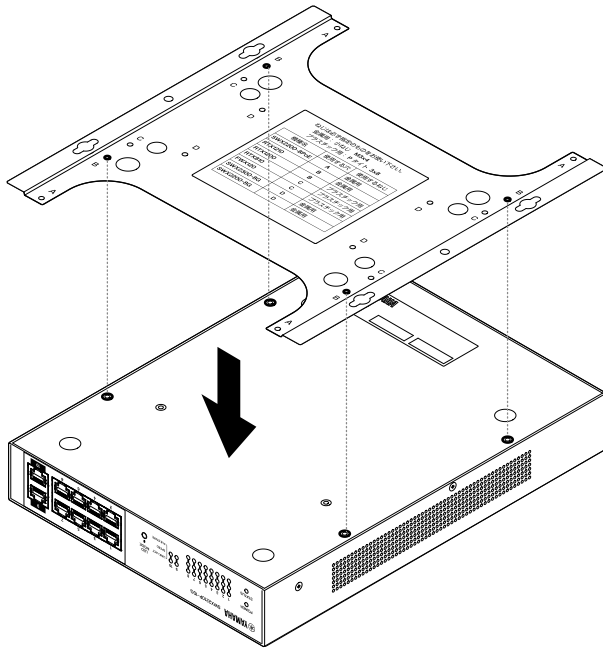
【ご用意いただくもの】

- 壁用取り付けネジ（6本）
本製品およびウォールマウントキットには、壁に取り付けるためのネジは同梱しておりません。市販のネジをお買い求めください。
取り付ける壁の材質によって、ネジの種類と長さが異なります。必ず取り付ける壁の材質、厚みをご確認いただき、壁の材質に合ったネジをご使用ください。



注意：必ず壁の材質に適合したネジを使用する。
落下によるけがや機器破損の原因になります。

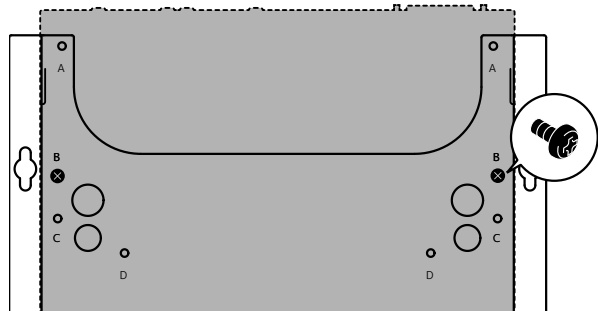
3. 本製品にマウント金具を合わせます（下図）。



重要：本製品の底面にレッグを取り付けている場合は、取り外してからマウント金具を取り付けてください。

4. マウント金具を付属のネジ（4本）で本製品に取り付けます。
プラスドライバーで確実に固定します。

- ・ 使用するネジ穴：B
- ・ 使用するネジ：金属筐体用（黒色 小M3×4）



警告：必ずウォールマウントキット付属の指定されたネジを使用する。
落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。

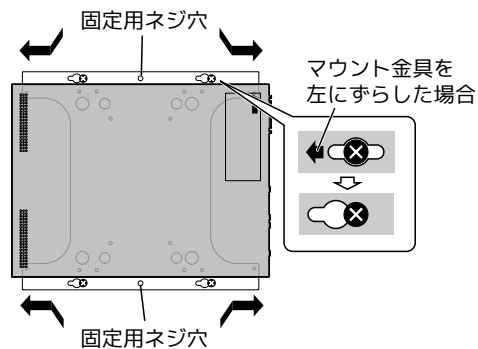


注意：マウント金具の角に手や指をかけるときは、注意する。
けがの原因になります。

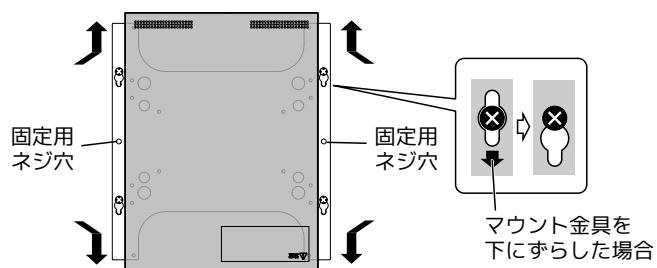
5. 壁に取り付けた市販のネジに、組み上げたマウント金具を引っ掛けてずらしません。
取り付ける向きに合わせて、マウント金具をずらしてください（下図参照）。

- ・ 横向きに取り付ける場合： 左または右にずらす
- ・ 縦向きに取り付ける場合： 下にずらす

【横向きに取り付ける場合】



【縦向きに取り付ける場合】



注意：本製品を落下させない。
落下によるけがや機器破損の原因になります。

6. 仮止めた市販のネジを増し締めし、マウント金具を固定します。
7. マウント金具の固定用ネジ穴（2箇所）に市販のネジを取り付けます。

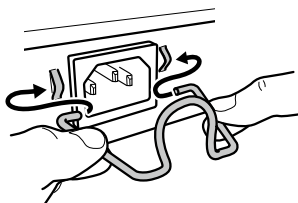


注意：必ず壁の材質に適合したネジを使用する。
落下によるけがや機器破損の原因になります。

4. 接続

4.1. 電源コードを接続する

1. 付属の電源コード抜け防止金具を取り付けます。
電源コードの不意の脱落を防止するために、付属の電源コード抜け防止金具（以下のイラストでは「付属の金具」）を電源コード抜け防止金具取り付け穴（以下のイラストでは「本体の穴」）に取り付けて電源コードを固定します。

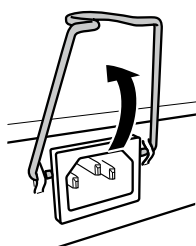


付属の金具を本体の穴に差し込む。

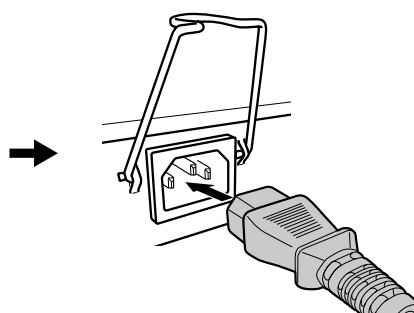


注意：付属の電源コード抜け防止金具は、付属の電源コード専用です。付属の電源コード以外では、コードが破損したり十分に固定されない可能性があります。

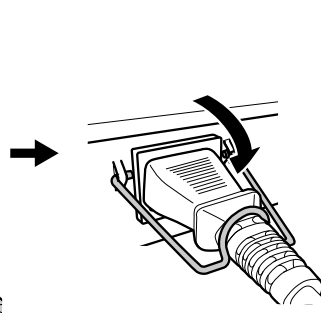
2. 付属の電源コードを電源インレットに接続し、金具で固定します。



① 金具を持ち上げる。



② 電源コードを接続する。



③ 金具を押し下げて固定する。

3. 電源プラグをコンセントに接続します。
POWERランプが緑色で点灯します。

注意：STATUSランプが橙色で点滅している場合は、以下のいずれかの異常が発生しています。異常の状態を確認して、適切に対応してください。



- ° ファンの停止
すぐに使用を中止し、必ずご購入の販売店に修理や点検をご依頼ください。
- ° PoE用電源の故障
すぐに使用を中止し、必ずご購入の販売店に修理や点検をご依頼ください。
- ° 本製品内部温度の異常
本製品内部の温度が適正になるように、設置環境を見直して本製品を正しく設置してください。

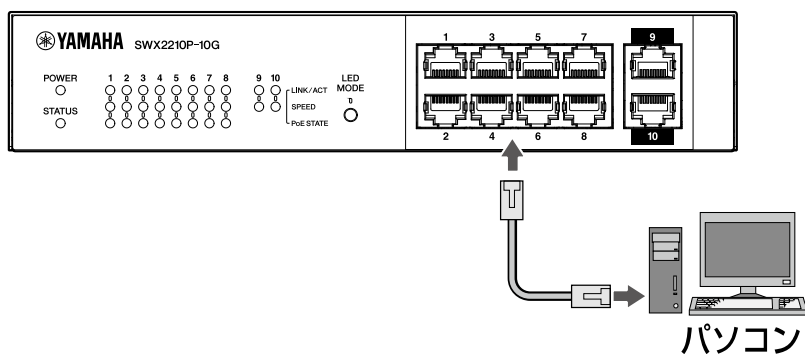


メモ：本製品には電源スイッチはありません。本製品に接続した電源コードのプラグをコンセントに差し込むことで、電源が入ります。

4. ポートのランプを確認します。
LINK/ACTランプを確認します。ネットワーク機器やパソコンを接続したLANポートに対応したLINK/ACTランプが、緑点灯または緑点滅すれば正常です。
ランプの状態の詳細は、「[LINK/ACTランプ](#)」をご覧ください。

4.2. ネットワーク機器やパソコンを接続する

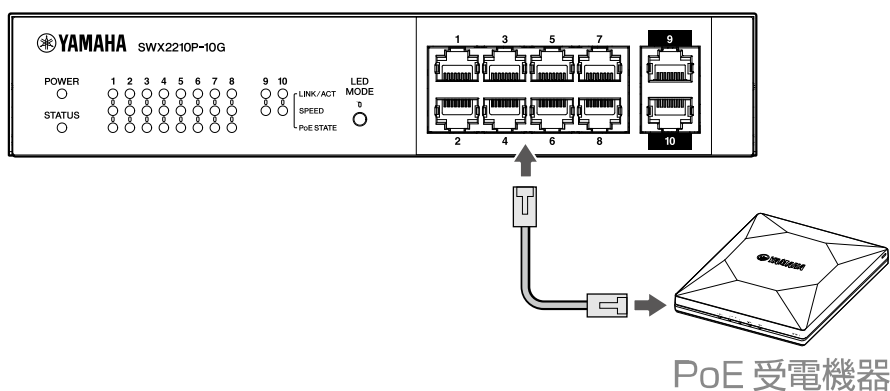
ネットワーク機器やパソコンのLANポートと、本製品のLANポートを、LANケーブルで接続します。



メモ：LINK/ACTランプで、ネットワーク機器やパソコンとの接続状態を確認できます。接続状態の詳細は「[LINK/ACTランプ](#)」をご覧ください。

4.3. PoE受電機器を接続する

PoE受電機器のLANポートと、本製品のLANポートを、LANケーブルで接続します。



警告：IEEE802.3at規格対応の受電機器を接続する場合、CAT5e以上のケーブルを使用する。
規格に適合したケーブルで接続しないと、火災や故障の原因になります。



メモ：PoE STATEランプで、PoE受電機器との給電状態を確認できます。給電状態の詳細は「[PoE STATEランプ](#)」をご覧ください。

5. 設定

以下の方法で本製品の設定を行うことができます。

- [Web GUIを使用して設定する](#)
- [Telnetを使用してコマンドラインで設定する](#)
- [本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す](#)

本製品へのログインには、一般ユーザーでログインする場合と、管理ユーザーでログインする場合があります。本章では、管理ユーザーでログインする手順を説明します。

詳しくは、以下のWebサイトで本製品のページをご覧ください。

ヤマハネットワーク機器の技術資料：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/>

本製品で使用するコマンドの詳細は、コマンドリファレンスをご覧ください。

コマンドリファレンスは、以下のWebサイトで公開されています。

ヤマハネットワーク機器マニュアル：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/manual.html>

5.1. Web GUIを使用して設定する

Web GUIを使用して本製品にログインするまでの手順を説明します。

使用可能なWebブラウザについては、以下のWebサイトをご覧ください。

ヤマハネットワーク製品Web GUIのWebブラウザ対応状況：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/FAQ/gui/browser.html>

5.1.1. Webブラウザを使用して本製品にログインする

1. 本製品とパソコンをLANケーブルで接続します。
2. 本製品の電源を確認します。
本製品の電源が入っていないときは、「[電源コードを接続する](#)」を参照して電源を入れます。電源が入っているときは、手順3に進みます。
3. Webブラウザを起動し「<http://>（本製品のIPアドレス）/[/](#)」にアクセスします。
アクセスに成功すると、ユーザー名とパスワードを入力するログイン画面が表示されます。

メモ



- 本製品のIPアドレスは、工場出荷時の状態では192.168.100.240/24が設定されています。
- 本製品をネットワークに接続していない場合は、設定に使用するパソコンのIPアドレスを、192.168.100.0/24のセグメントとなるように変更します。
パソコンのIPアドレスの変更方法は、パソコンのマニュアルをご覧ください。

4. ユーザー名とパスワードを入力して、「ログイン」ボタンをクリックします。
工場出荷時の状態ではユーザー名とパスワードは設定されていないため、ユーザー名とパスワードの入力は不要です。

5.2. Telnetを使用してコマンドラインで設定する

LAN上のホストから、Telnetクライアントを使用して本製品にログインするまでの手順を説明します。

5.2.1. Telnetクライアントを使用して本製品にログインする

パソコンなどのTelnetクライアントを使用して、本製品のTelnetサーバーに接続します。
例として、WindowsのTelnetクライアントを使用して本製品のTelnetサーバーに接続する手順を説明します。

1. 本製品とパソコンをLANケーブルで接続します。
2. 本製品の電源を確認します。
本製品の電源が入っていないときは、「[電源コードを接続する](#)」を参照して電源を入れます。電源が入っているときは、手順3に進みます。
3. Windowsのコマンドプロンプトを起動します。
4. telnet コマンドで本製品のIPアドレスを入力します。
本製品が工場出荷時の状態のときは、telnetコマンドの後に“192.168.100.240”を入力します。

```
telnet 192.168.100.240
```

5. [Enter]キーを押します。
ユーザー名入力待ち状態になります。
事前にユーザー名を設定している場合は、ユーザー名を入力します。
工場出荷時の状態では、ユーザー名が設定されていないので入力不要です。

```
Username:
```

6. [Enter]キーを押します。
パスワード入力待ち状態になります。
事前にパスワードを設定している場合は、パスワードを入力します。
工場出荷時の状態およびパスワードを設定していない場合は、入力不要です。

```
Password:
```

7. [Enter]キーを押します。
パスワード認証が成功するとコマンドプロンプトが表示され、コマンドを入力できるようになります。

```
SWX2210P>
```

コマンドの詳細は、コマンドリファレンスをご覧ください。

コマンドリファレンスは、以下のWebサイトで公開されています。

ヤマハネットワーク機器マニュアル：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/manual.html>



メモ：Windowsの場合、初期設定ではTelnet機能は無効になっています。Telnet機能を使用するには、Telnetクライアントを有効にしてください。

5.3. 本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す

本製品の設定を、工場出荷時の状態に戻すまでの手順を説明します。

- [本製品のWeb GUIから工場出荷時の状態に戻す](#)
- [cold startコマンドで工場出荷時の状態に戻す](#)
- [LED MODEボタンで工場出荷時の状態に戻す](#)

注意：工場出荷時の状態へ戻す場合は、以下の点にご注意ください。



- 実行した直後にすべての通信が切断されます。
- 本製品のIPアドレスが初期設定値（192.168.100.240）に戻ります。
- 工場出荷時の状態に戻した後は、設定内容を復元できません。必要に応じて、事前にパソコンなどに設定内容を退避してください。Configファイルの読み出し方法については、ヤマハWebサイトの「コマンドリファレンス」をご覧ください。コマンドリファレンスは、以下のWebサイトで公開されています。
ヤマハネットワーク機器マニュアル：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/manual.html>

5.3.1. 本製品のWeb GUIから工場出荷時の状態に戻す

Web GUIから設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 「管理」タブ→「保守」→「再起動と初期化」を順に選択します。
「再起動と初期化」画面が表示されます。
2. 「初期化」項目の「進む」ボタンをクリックします。
「初期化」画面が表示されます。
3. 管理者パスワードを入力し、「確認」ボタンをクリックします。
「実行内容の確認」画面が表示されます。
4. 内容を確認し、「実行」ボタンをクリックします。
本製品が工場出荷時の状態へ戻されます。また、「初期化」ダイアログが表示され、本製品が再起動します。
5. 本製品の再起動が完了した後、Web GUIに再度アクセスします。

メモ



- 再起動中は、Web GUIを開いているパソコンが本製品と通信できない状態になります（パソコンのネットワークアダプターの状態表示で「ネットワークケーブルが接続されていない」と表示されます）。再起動が完了すると通信状態が復旧します。本製品のランプの点滅終了後に、パソコンの通信状態が復旧していることを確認してから「192.168.100.240/24」をクリックしてください。
- 本製品のIPアドレスが192.168.100.240に戻ります。Web GUIを再表示するときは、192.168.100.240にアクセスしてください。

5.3.2. cold startコマンドで工場出荷時の状態に戻す

Telnetを使用して、コマンドラインから設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。



注意：Telnetでログインしている場合は、その通信が切断されます。



メモ：ここでは、「[Telnetを使用してコマンドラインで設定する](#)」でログインしたことを前提に説明します。

1. enable を入力し、[Enter]キーを押します。
特権EXECモードに変更されます。

```
SWX2210P>enable  
SWX2210P#
```

2. cold start コマンドを入力し、[Enter]キーを押します。
管理者パスワードの入力が要求されます。

```
SWX2210P#cold start  
Password:
```

3. 管理者パスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
本製品に保存されている設定を工場出荷時の状態に戻し、SYSLOGを消去して本製品が再起動します。

5.3.3. LED MODEボタンで工場出荷時の状態に戻す

電源OFF時に、前面のLED MODEボタンを押した状態で電源を入れると、設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。



メモ：本製品には電源スイッチはありません。本製品に接続した電源コードのプラグをコンセントに差し込むことで、電源が入ります。

1. 指で前面のLED MODEボタンを押した状態で、電源を入れます。
本製品が起動します。
2. 指で前面のLED MODEボタンを押した状態で、10秒間ほど待ちます。
本製品に保存されている設定を工場出荷時の状態に戻し、SYSLOGを消去します。
3. POWERランプとSTATUSランプを除くすべてのランプが橙色に点灯したら、LED MODEボタンから指を離します。

Manual Development Group
© 2019 Yamaha Corporation
2019年11月 発行
YJ-A0